

2023 年度 臨時理事会 議事録（案）

- ・ 日時：2024 年 5 月 18 日（土）10:00～11:15
- ・ 出席理事・監事：樗木・杉村・南津・稲永・笠原・冨成・畠山
- ・ 書記：笠原

※各提案の理由は次回年次大会運営委員長の畠山理事が説明した。その説明資料を末尾に「資料1」として添付した。

※※欠席した石原理事、関根監事からは事前に審議事項に関するご意見を頂いており、末尾に「資料2」として添付した。ご意見は笠原が代読した。

・ 審議事項

■ 1) 大会参加費改定（昨年度は、昼食交流会費込みで会員は千円、非会員は二千元。今年度は各4千円と6千円に。学生会員は2千円、学生非会員は3千円に。）

- ・ 反対の意見として、学会運営費（貯金）があるうちは、参加費等を値上げする必要がないのでは、これらの「貯金」はコロナ禍での各種自粛によって生じたもので、会員に還元すべきでは、といったものがあった。
- ・ 他方、他の学会と比較しても本学会の大会参加費はかなり低い金額であること、会員数が毎年減少していく中で余力のあるうちに合理的な金額に引き上げるべきだとの意見も出た。
- ・ 結論として、貯金を会員に還元する方策は別途検討するとして、提案内容が了承された。またケータリングではなく、複数種類のお弁当を提供する形にすれば、金額を抑えることができるのではないか、という案も今後の検討事項として紹介された。

■ 2) 賛助会員の昼食交流会費（賛助会員から出展料はとらないことは継続するが、昼食交流会費の一人2千円をいただく。これまでは賛助会員の参加は無料。）

- ・ 了承された。

■ 3) 賛助発表の検討（賛助会員の出版物について非会員の先生と共に発表（宣伝）いただく新企画を設けてはどうか、非会員の先生は、賛助会員と同じ扱い、即ち昼食交流会費のみいただく。）

- ・ 石原理事の「賛助会員には、そもそも大会での発表資格が与えられている。大会での発表は、筆頭が会員であれば、非会員を共同発表者に加えることができる。従って新企画とせずとも、可能なはず」との御意見に賛成が集まり、現行の制度を活用することになった。そもそもこれらの規定が知られていない、という指摘があり、こうした制度を賛助会員に積極的にお知らせして積極的な発表を募ることになった。また、非会員の先生に発表して頂く場合には、大会参加費を徴収することを明示しておかないと、のちのち誤解からトラブルが生じる可能性があるため留意されたいとの意見が出た。

■ 4) 朝日出版社の出展勧誘（賛助会員に勧誘したいが、過去に無料で招待したことが複数回あり、慣例になっても良くないため、今回は出展料（金額未定）をいただく前提でお誘いする）

・石原理事の御意見に多くの賛成が集まり、①まずは賛助会員としての入会をご案内する②その上で、大会への出展料を設定し、朝日出版社だけでなく様々な出版社に声をかける、という手順で合意された。

・また勧誘する出版社について、理事会以外の会員からも情報を募っては、との意見も出た。理事会では、勧誘先について、教科書会社に加えて専門書を出している出版社も加えては、との意見もあり、次の出版社が候補として挙げられた。くろしお出版、北大路書房、みすず書房、ネリーズ、大阪教育図書、英宝社、春風社

■追加の審議事項

・南津理事から、HPの更新について提案がなされた。年々サイトへの海外からのサイバー攻撃が激しくなっており、JAMESのサイトも同じように過去にその攻撃に遭っていることへの対策が主な理由として挙げられた。他の理事からは、次の理事会に宿題を残すよりは現在の理事会で解決した方が良いのではないかとの意見が支持を集め、理事会メーリングリストで他の理事の意見を伺った後、更新を行い、総会に報告する、という手順が合意された。

■資料1：畠山理事による提案説明資料

<大会参加費について>

・会場費がかかるようになってきていることと、物価上昇を踏まえて、今回は値上げをするチャンスではないか。（値上げをしないと、コスト削減&学会からの補填額増加となり、長期的には厳しい。）また、他学会や海外学会との比較感からリーズナブルだと思われるのではないか。

※参考：JACETは大会参加費1万円（3日間）、夜の懇親会7,000円、お昼なし

心理系の学会では参加費1.3万円

・会場費（15万円程度）+昼食交流会費（15万程度）=30万円の半分を参加者に参加費として負担していただくということで説明がつくか。

※昨年：昼食交流会に15万円、参加者37名、一人4千円かかった。食べ物が余ったので量を少し減らしてもいいかも。

※参考：学会としての年次大会の予算は35万円（<会場費+昼食交流会>の半分+基調講演全額+学生アルバイト全額）。

・以下の費用案を理事会に諮る

	会員	非会員
一般	4,000円	6,000円
学生	2,000円	3,000円
賛助（参加者一人当たり）	2,000円（昼食交流会）	

・会員と非会員の差額は2,000円。（会員特典として、発表ができること、会報が送付される、大会参加費が安くなる、ことをアピールして、入会につなげたい。）

- ・学生の料金設定は、会員非会員とも一般の半額に。会員と非会員の差をつけることで入会のインセンティブに。当学会は年会費に学生会員の設定はない。

※参考：JACET では学生参加費は（会員非会員問わず）一般会員の半額。年会費には学生会費あり。

<朝日出版社さんの出展について>

- ・朝日出版社に賛助会員になっていただくことを目指して、出展を勧誘してはどうか。以前営業だった小川氏が社長になっている。

※参考：以前学芸大学で実施した年次大会では、朝日出版社を招待（無料）でお招きし、ブースを出していただいた。オンラインの大会でも、無料で招待した例がある。

- ・何回も無料で招待した実績があるということで、慣例になるのはよろしくない。現賛助会員（年間3万円）との公平性を取るの難しい。

・無料ではなく、出展料をいただくこと、また賛助会員になっていただくことをお願いするという条件で、理事会に諮る。（出展料は理事会で）

<賛助会員の出展について>

- ・賛助会員に会場の写真を送るといいのでは？5月中にできるとありがたい。
- ・賛助会員は年会費3万円を払っているので、年次大会のブース出展は無料。今年から、昼食交流会費をお支払いいただく。
- ・ブースを部屋に置くのではなく、受付近くの廊下に置いて欲しいとのリクエストあり。
- ・昨年、金星堂さんが、他学会との日程被りで参加できず→ビデオメッセージをいただくなど工夫できそう？

■資料2：石原理事と関根監事のご意見

○1) 大会参加費改定

- ・関根監事：前回同様、全体の学会運営費（貯金）があるうちは、参加費等を値上げする必要がないので・・・以前は昼食交流会費も無料でした。＜＜＜今回は開催校からの助成金等がない、少ないから赤字？になるということでしょうか。現時点では理由不明
- ・石原理事：異存ありません。ただ、昼食交流会は「参加しない」という選択肢が実質的には選べないので、一会員の視点からすると、やや高額だなという印象です。それによって大会参加自体を見送る人もできるかも、という危惧があります。

○2) 賛助会員の昼食交流会費

- ・関根監事：1) に同じ
- ・石原理事：異存ありません。

○3) 賛助発表の検討

・ 関根監事： 賛成

・ 石原理事：

これは、正直、「非会員の先生と共に」という提案の趣旨がよくわかりませんでした。賛助会員には、そもそも大会での発表資格が与えられています。

==

賛助会員の、主な特典は以下のとおりです（以下、すべてご希望により無料で提供）。

1. 学会HPへの企業バナーの掲載
2. 学会誌への広告ページの掲載
3. 年次大会での書籍展示スペースの提供
4. 年次大会での発表資格（個人正会員とのジョイント発表を含む）

==

また、大会での発表は、筆頭が会員であれば、非会員を共同発表者に加えることができます。

==

*発表資格は本学会の会員であることですが、共同発表については会員が筆頭発表者（主たる発表者）であれば非会員を発表構成員に加えることができます。

==

つまり、新企画とせずとも、3)は可能なはずですが。個人的には、年次大会の発表スロットは、あくまで研究発表の場ですから、「宣伝」と明示せず、「研究発表」「実践報告」に加えて「賛助会員発表」のような枠を設けて、非会員と共同に限らず、どのような形でも（単独でも、会員と共同でも、また、非会員と共同でも）、賛助会員による発表を促すというのがよいと思います。

まあ、そうすると、実質的には企業の宣伝になると思うのですが、要は、体裁を「新教材や実践例の提案」のように、年次大会の報告に相応しい形に整えてもらうような方向がいいのではないのでしょうか。

○4) 朝日出版社の出展勧誘

・ 関根監事： 賛成

・ 石原理事：出展料をいくらに設定するのかにもよりますが、まずは賛助会員としての入会（3万円）をご案内するのがよいと思います。その上で、大会への出展料を設定するのであれば、朝日さんに限らず、いろいろな企業に声をかける方向で動く（朝日出版さん専用の設定にしない）ほうがよいと思います。

以上